

中国諸民族履きものの固有属性の検討 (3)

—女子履きものの固有属性からみた文化クラスター—

○下田敦子* 大澤清二* 笠井直美* 近藤四郎**

(*大妻女大人間生活科学研究所, **京都大)

【目的と方法】本研究は、中国に居住する諸民族をそれら民族がもつ伝統的な履きものの固有属性によって計量的に分類^註したものである。前報では、16民族の男子履きものを対象として「固有属性」によりクラスター分析を行ったところ、3つの履きもの圏に分類され、履きものの固有属性は当該民族の生業と密接に関連していることが明らかとなった。本報では、前報と同じの16民族の女子の資料を対象として、これらの「固有属性」をダミー変数として数量化し、民族間の距離行列をマハラノビスの汎距離によって示し、これをもとにaverage法によるクラスター分析を行った。

【結果】16民族の女子履きもの間のクラスター分析によると、ハザク族・キルギス族・ウイグル族で構成され「皮製の長ぐつ」を特徴とする履きもの圏Ⅰ、モンゴル族・ダフル族・チベット族で構成され「皮製で履きもの先端が反り上がった長ぐつ」を特徴とする履きもの圏Ⅱ、イ族・カン族・パイ族・メオ族・ナシ族・チャン族・チワン族・トンシャン族・シボ族・マンシュウ族で構成され「布製の浅ぐつ」を特徴とする履きもの圏Ⅲが構成された。

^註 下田・大澤・笠井・近藤, 日本家政学会誌, 49 (4) 397-408 (1998)